

5. 親子のコミュニケーション③<子どもを知る>

① 子どもの気持ちに近づくために…

《ねらい》

○親から言われたことばや日ごろの子どもへの言葉かけをふりかえり、子どもの気持ちを考えた言葉かけを考える。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい		
		子どもは、私たちの言葉をどのように感じているのでしょうか？今日は、子どもの時言われたことばを思い出しながら、子どもがうれしくなったり、やる気になる言葉について考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・後出しジャンケン	アイスブレイク編P. 7参照	
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (30)	5	4. ワークシートに記入する。 ・子どもを叱るときの状況やことば (ワーク1)	4. 日ごろ、お子さんを叱っているときはどんな時ですか。その状況や言っていることばを思い出して ワーク1 に書き出してみましょう。	・「早くしなさい」など具体的なことばを書くよう伝える。
	5	5. グループで話し合う。 ・子どもが安心する言葉 (ワーク2)	5. どんな時にどんなことばでお子さんを叱っていましたか。どんなことばに変えると子どもがうれしくなったり、やる気になったりするような子どもの心がすなおになる考えて、 ワーク2 に記入しましょう。	・4人グループで話し合う。
	5	6. 2人組で体験する。 ・子どもを叱る言葉 ・子どもが安心する言葉	6. 2人組で叱ることばとつながることばを体験してみましょう。	・親と子の役割分担を確認し、ワークシートを交換して体験する。
	10	7. グループで話し合う。	7. 言われてどうでしたか。感想を話し合しましょう。子どもの心が安心する、落ち着く言葉を考えてみましょう。	・4人グループで話し合う。 ・言い方にも注目させる。
まとめ (10)	5	8. ふりかえり	8. どのような意見が出てきましたか。グループの意見を紹介してください。	・全グループ又は抽出グループで発表する。
	5	9. まとめ	いかがでしたか？言葉にもいやな気持ちになる言葉と嬉しい気持ちになる言葉がありましたね。子どもたちには、やる気が出て元気になる、心がうれしくなる言葉をたくさんかけていきたいものです。	

子どもの気持ちに近づくために…

私たち保護者は、子どもの心身の健やかな成長を願って、「子どものためによかれと思って」いろいろな言葉をかけています。そんな言葉を子どもはどのように聞いているのでしょうか？

あなたが子どもの頃、親から言われてうれしかった言葉や嫌だった言葉を思い出してみましょう。そして、今あなたが子どもに使っている言葉で、「きっと子どもは嫌だろうなあ」と思われるものを書き出してみましょう。

ワーク1

あなたが叱るときはどんな時ですか？
どんなことばを使っていますか？

<場面>



<具体的なことば>



ワーク2

子どもがうれしくなったり、やる気になったりするようなことばに変えてみましょう。



今日を振り返って

